

あゆむ

平成26年度施設見学会を実施 社会福祉法人「典人会」

認知症の人とあゆむ会施設見学会が9月24日(水)正会員13名事務局5名が参加し、大船渡市の社会福祉法人典人会で実施されました。

途中、道の駅さんりくで昼食休憩をとり目的地へ。はじめに特別養護老人ホーム「ひまわり」では典人会各施設の概要や同法人が事務局を務めている「認知症の人と家族の会」についての説明を受け、その後、各施設の見学を行いました。

デイサービス、ショートステイ、グループホームと各施設が隣接し「認知症のご利用者様がどの施設を利用することになっても、混乱することがないように建て増しをしていったらこのようになった」との説明でした。各施設間の連携も強く、顔馴染みの職員さん達にケアして頂くことで、変化に敏感な認知症の方も安心して生活できるような配慮がされておりました。また、各施設には、キッチンが設置されており、「ご利用者様にも調

理やお手伝いをして頂くこともある」と説明を受けました。認知症になってもできることやその人らしさは沢山あり、利用者の方々は、その方を持っている力を生かしながら生活されておりました。

ある入所者様のお部屋にはご自宅より持参した、こたつやタンスが置かれており、自宅そのままに近い暮らしをしている様子が見られました。時々ご家族も施設に泊まって行かれることもあるとの説明に、見学者からは「私も泊まりたいわ」との声も聞かれておりました。

季節感ある装飾品や家庭的な家具に囲まれて過ごす入所者様達の穏やかな表情を拝見し、介護施設であることを忘れてしまうようなどこか懐かしく落ち着いた印象を受けました。

入所者様の心に寄り添った「典人会」。素晴らしい経営理念に触れることができた見学会でした。

ミニ講座

認知症の人と環境の支援

1. 認知症の症状と環境との関係

(1) 認知症の症状と環境

認知症の人の気持ちや行動に対して環境は大きな影響を与えます。環境を工夫し上手に対応することが介護を上手に行うことにつながります。

(2) 三つの環境要素

- ① 社会的環境…認知症の人をめぐる人間関係
- ② 物理的環境…刺激や物、空間等のこと
- ③ 運営的環境…施設等で支援するときの方針の共有ができていくかといった運営体制

2. 環境(物理的環境)の工夫

(1) 日時や場所が分らなくなることへの支援

時計やカレンダーを見やすい場所に掲示するなど。食事の声掛けで「お昼ご飯ですよ」といつの食事が分かる言葉を入れることも有効です。

(2) 生活の継続性と残された力への支援

できるだけ慣れ親しんだ生活様式を継続し、身の回りに物を置くことでその人自身が使用し力を発揮できるようにします。

(3) 安全と安心

転倒などの事故を防止するために段差のある場所に手すりを設置、浴槽などの滑りやすい場所に滑り止めマットを使用する等の方法があります。

★シリーズ★ 成年後見制度 第4回

任意後見制度のメリットは、自分が信頼できる人に支援してもらう内容をあらかじめ契約で定めることができるということです。しかし、契約の効力発生後に、任意後見人だけでなく後見監督人に対しても報酬を支払う必要があります。

任意後見人の報酬は契約で決めますが、監督人は家庭裁判所が決定することとなります。



【記事：釜石市地域包括支援センター 川崎達巳】

..... 活動予定

- ☆ つどい定例会 (対象：正会員・準会員)
 - ・ 10月22日(水) 13:30~15:00
 - ※ 会場：小佐野コミュニティセンター3階
- ☆ 小規模定例会 (対象：正会員のみ)
 - ・ 11月19日(水) 13:30~15:00
 - ※ 会場：小佐野コミュニティセンター1階
- ☆ 研修会 (対象：会員・一般)
 - ・ 12月開催予定
 - ※ 詳細は後日文書にてお知らせします。